

令和6年度 病害虫防除情報

令和6年7月30日

発表：福島県病害虫防除所

**ナシヒメシンクイによるモモの新梢の芯折れ被害が多い状況です。
ナシ・モモの果実被害を防ぐため、適期防除を徹底しましょう！**

- 1 対象作物：ナシ・モモ
- 2 病害虫：ナシヒメシンクイ
- 3 対象地域：全域



写真1 モモの芯折れ被害(7/2撮影)

発生状況等

(1) 7月上旬の巡回調査では、本種によるモモ新梢の芯折れ被害発生ほ場割合が6割程度と平年より高い状況です(図1、写真1)。

また、この時期に確認されていない「中」発生のは場が多数見つかっています。

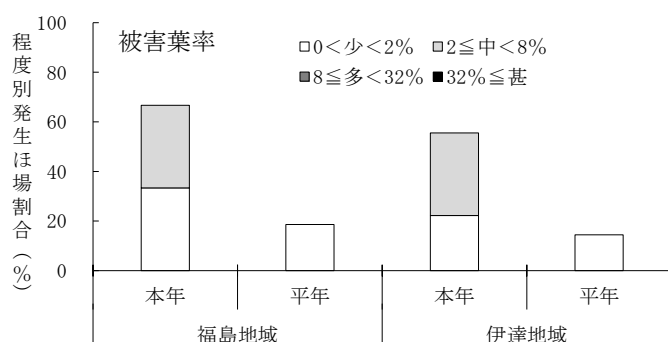


図1 モモほ場のナシヒメシンクイによる芯折れの発生状況(7月上旬、福島地域、伊達地域いずれも9園地「あかつき」)

表1 ナシヒメシンクイ防除時期の推定(令和6年7月26日現在)

今後の気温予測	第3世代成虫誘殺盛期	第4世代幼虫防除適期
2℃高い	8月6日	8月12日
平年並	8月8日	8月14日
2℃低い	8月9日	8月17日

防除対策

- (1) 果樹研究所における本種第3世代成虫の誘殺盛期は、気温が2℃高く推移した場合、8月2半旬頃と予測され、第4世代幼虫の防除適期(発生盛期)は8月3半旬頃と推定されています(表1)。また、ナシ「幸水」の収穫盛期は8月20日頃と見込まれており、モモ晩生種とともに本種第4世代幼虫による果実被害が懸念されます。
- (2) 近隣のモモやウメ等の芯折れ被害の発生状況に注意し、県農作物病害虫防除指針や地域の防除暦を参考に、農薬使用基準を遵守して防除を徹底しましょう。なお、本年は果樹カメムシ類の発生が多いため、併せて防除を徹底しましょう(令和6年7月30日付け令和6年度病害虫発生予察情報注意報第3号参照)。
- (3) 近年、ナシ中・晩生種での第5世代幼虫の被害が確認されています。今後の定期予察情報等を参考にして防除を徹底しましょう(令和3年度参考となる成果<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/504234.pdf>)。

● 情報内容への質問は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)まで御連絡ください。本情報は、病害虫防除所ホームページ(<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>)でもご覧になれます。TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727